

施策・主な取組シート

基本方向	(3) まちを支える人づくり	基本政策	3) 市民文化の充実	
(1) 施策				
名称	16 市民文化の充実			
目標	歴史・文化・芸術にふれあう機会を市民に提供し、市民が芸術文化活動を行う環境を整備することで、ふるさと意識や愛着を育み、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。			
現状と課題	<p>古くから海上交通の要衝として栄えてきた本市は、数多くの歴史的文化遺産と、東京湾最大の盤洲干潟や県が指定する自然環境保全地域など、海と山に囲まれた自然豊かな地域ですが、人口増加や土地開発の進展などに伴い、市民の生活環境に変化が生じています。</p> <p>このような中、ふるさと意識や市民意識を高めるため、優れた芸術や伝統文化に触れる機会を設け、先人たちが残した歴史的文化遺産に対する誇りと愛着心を育むとともに、これらを次世代へ受け継ぐことが求められています。</p> <p>また、市民会館大ホール及び集会棟の休館により、市民の文化芸術活動の発表の場が限定されるため、その場の確保に取り組む必要があります。さらに、新たな木更津市史の編さんに向けた調査・研究の成果と合わせ、国の重要文化財である金鈴塚古墳出土品の国宝化推進に向けた取り組みを通じ、市民の歴史・文化に対する関心を高めることが課題となっています。</p>			
課題解決の方向性	<p>文化芸術活動を推進し、幅広い事業展開を可能とする新たな施設整備を検討します。</p> <p>ふるさと文化の継承を図るため、新たな木更津市史の編さんに努めるとともに、金鈴塚古墳の魅力などについて、情報発信に努めます。</p> <p>郷土博物館金のすずにおける博物館収蔵資料を適正に管理するとともに、埋蔵文化財の管理・活用については、既存の公共施設を再活用します。</p>			
(2) 主な取組				
No.1	名称	芸術文化活動の推進		
	担当課	文化課・総務課		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動の発表の場となるホール機能を有し、市民が日常的に集える様々な事業用途に適した、新たな施設整備を検討します。 ・市内の芸術文化団体が、市外の施設を利用する場合の助成を行います。 ・児童生徒が芸術を学ぶ機会となる音楽鑑賞教室を行うとともに、プロの音楽家や芸術団体を招いたコンサートを開催し、市民が優れた芸術文化に触れる機会を提供します。 		
No.2	名称	ふるさと文化の継承		
	担当課	文化課・施設課・郷土博物館金のすず		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな木更津市史の編さんに取り組み、調査・研究の成果を刊行するとともに、公開講座を行います。 ・市内に所在する有形・無形の文化財などの保護を図るため、市指定文化財の指定や、保存・伝承に向けて地域の文化団体を支援します。また、埋蔵文化財保護のため、必要な発掘調査を行うとともに、文化財の管理・公開に取り組みます。 ・ふるさとに誇りと愛着を持つ市民を育むため、国の重要文化財である上総木更津金鈴塚古墳出土品の国宝指定に向けた手続きを円滑に進めます。 ・郷土博物館金のすずの博物館資料の適切な保管管理を図り、郷土の歴史・文化・芸術に関する情報を発信する博物館機能の充実を図ります。 		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値(H30)	目標値(H34)	設定の考え方
	芸術文化に親しむまちづくり振興事業コンサート実施数・入場者数	3(4)回・900(1200)人	4回・1600人	コンサート1回400人。(中規模ホール観客席の70~80%程度)
	郷土博物館金のすず入館者数	10,000人	12,000人	常設展示のリニューアルを実施し、入館者の増員を図る。